

事業番号	311
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	通学路標識整備事業							担当部	教育委員会事務局						
	会計区分	一般会計				事業類型	一般		担当課	教育総務課						
	事業期間	平成12年度以前				～	平成30年度以降		担当係	庶務係						
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 学校教育		1 教育を支える学習環境を整備する									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	2		目	1		大	4		中	2	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	100 %				委託	0 %				助成	0 %			
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	<p>車両運転士に対し通学路であることの認識と注意を喚起し、児童生徒の通学時における安全性を向上させる。</p>														
	内容 (手段)	<p>通学路の要所に通学路標識を設置、又、注意箇所のみどり線を設置することにより、車両運転士の注意を喚起する。 関係機関と協議し、有効性の高い通学路を選定し通学路標識の新設、みどり線設置工事を実施する。 破損した通学路標識は速やかに取替工事を行う。</p> <p>○平成23年度実施内容 通学路標識の新設等 23基 1,029,000円 通学路みどり線設置 1箇所 609,000円 通学路標識撤去等手数料 7箇所 70,000円 ※平成23年度については直接経費の内訳を追記してください。</p> <p>○平成24年度実施内容(予定) 通学路標識の新設等 27基 通学路みどり線設置 1箇所 通学路標識撤去等手数料 15箇所</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,303	1,530	1,708	3,050	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,063	1,063	1,063	1,063
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	3,366	2,593	2,771	4,113	
	対前年比	%		77.0	106.8	148.4		
財源	一般財源	千円	3,366	2,593	2,771	4,113		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	通学路標識新設、建替、移設、撤去、看板取替数	基	目標		—	27	27
実績				24	30	23	
通学路みどり線設置	箇所	目標		2	1	1	1
		実績		1	1	1	
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	児童生徒の通学路における交通死亡事故	人	目標		0	0	0
実績				0	0	0	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	学校及び地元からの要望を基に、通学路標識の新設等行うことができた。また、みどり線設置については、市内全体の状況を勘案し、より必要と思われる場所に設置した。通学路標識関連については、ほぼ要求どおり実施でき、車両運転士に啓発を行うことができ、児童生徒の通学路における交通死亡事故は、0件であった。
		事業実施における課題等	みどり線設置については、年間1ヶ所ずつ設置を進めているが、毎年要望が多くあり、なかなかそれに応えられない状況である。
		事業を縮小・廃止したときの影響	通学路は、その年度ごとに小中学校からの申し出により設定されるが、その変更に対応した表示を行うことができず、車輛運転者に正しく通学路を認識できなくなる可能性がある。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	過去に設置した看板の腐食等による立替、また、新たに通学路指定された場所への通学路看板の設置は毎年必要となる。 みどり線設置は希望箇所が多くなるため、順次検討が必要となる。	
	改善案等	みどり線については、平成24年度当初行った学校からの設置希望調査をもとに、市内全体の状況を勘案しながら、設置への検討・実施を行う。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。本年度の通学路の調査結果に基づく、今後の取り組み状況によっては、「拡充」となる。